

・ 指導者経営者共育塾

1) 趣旨

指導者経営者共育塾は「人街づくり」のためにあらゆる職種の方々が集まり、社会課題解決のために討論し、活動につなぐための場です。指導者や経営者が培った人間力を基にしたリーダーの在り方や組織づくりについて学びを深め、社会貢献活動を推進する力になればと思います。また、この会での出会いから人間力あるリーダーが連携し、学校から企業に就職するなど人材の交流を通じて、組織の活性化につなげていきたいです。

具体的にはスポーツで人間力を培った若者が人間力を育む企業で働く流れをつくることです。そのためには学校や企業のリーダーが連携する必要がありますが、その場が「指導者経営者共育塾」です。この会は討論を中心にした参加型の会で、より良い社会にしたいという思いのある人が一体となって「人・街づくり」をしていくことを目指します。尚、指導者とは「指し示し導く人」ですので、あらゆる分野のリーダーとなる人に参加してもらいたいです。

2) 理念

「生きがいを育むために支え合い、人を大切にする街づくりに貢献します」

3) 目標

・ 人街づくり教育・医療・行政・企業が連携し社会課題を解決

- ①人間力ある人づくり：利他心を基に社会貢献に勤しむリーダーの育成
- ②ネットワークづくり：あらゆる世代・職種の人達が連携し地域の活動を推進

4) 課題

・ 人間力ある指導者と経営者が交流を深め、社会貢献活動を推進

- ①学校企業連携：人間学の学びで縁をつくり、連携する学校から企業に就職
- ②キャリア教育：高校・大学のスポーツ選手を人を大切にする会社への就職を支援
- ③指導者育成：人間力あるリーダーの育成、部活動や学習&スポーツ塾で活動
- ④令和の寺子屋：みんな居場所づくり、学費支援などの社会活動の推進

5) テーマの基本

- ①人間学と組織づくり：人間学と組織運営を関連させ、成果を出すための考えを深める
- ②勝利の哲学と人づくり：人間教育を勝利につなぐための指導法
- ③仕事の意義とキャリア教育：企業が求める人材、学生にも学んでもらい就職に生かす

6) 毎回の流れの基本

- ①担当者がテーマについてプレゼン：当面コアメンバーの講義
- ②討論：テーマについてコアメンバーを中心に討論し、活動の方向性を示す
- ③活動紹介：各地の社会貢献活動を共有、学校・企業の現状を知り課題解決に

7) 開催要領

- ①主催：NPO法人野球共育塾
- ②開催頻度：年3～4回、状況により柔軟に開催
- ③開催日時：平日19時～21時を基本に調整
- ④対象：コアメンバーの推薦者・野球共育塾会員など社会貢献活動に興味のある方
- ⑤開催方法：現地・オンラインの併用、開催場所に人が集まり、オンラインで配信
- ⑥場所：古田土会計事務所など首都圏で集まりやすい会場
- ⑦参加費：無料
- ⑧懇親会：交流を深める場として会場周辺で開催

8) コアメンバー

・下記メンバーでテーマを掘り下げた討論

- ①古田土満・税理士法人古田土会計事務所会長
- ②小林良子・(株)スマイルフォスター社長
- ③斉藤博久・桐蔭横浜大学野球部監督
- ④金沢成奉・明秀学園日立高校野球部監督
- ⑤森士・NPO法人FRM理事長、前浦和学院野球部監督
- ⑥能勢康史・NPO法人野球共育塾理事長、高校・大学・社会人野球チームに33年関わる
・野球指導者は人間力育成と勝つこと両立し日本一経験者

8) 過去のテーマ

- 1回2024/6/21：古田土 仕事の意義－生きがいを育む働き方とは
- 2回2024/9/24：森士 勝利を目指す意義－厳しい指導による育まれる力
- 3回2024/1/21：小林 感性を育む人づくり－企業が求める人財
- 4回2025/4/15：金沢 野球を通じた人づくり－鍛えることで育つ力
- 5回2025/6/23：交流会

・指導者トレーナー共育塾

1) 趣旨

野球トレーナー共育塾の目的は人間力を育み、頂いた恩を次の世代に送ってもらうことです。人生の先輩や同世代の人達の考え方を聞き、正しい努力の方向性を見出し実践してもらえればと思います。また、この会では学んだことを次の世代（子供たち）に伝える社会貢献活動にも力を入れていきたいです。

この塾を立ち上げる背景は目にスピードや筋力など見えるものを求め、目には見えない考える力が低下している選手が増えおり、考え方を次世代に継承しなければ日本野球は衰退するという危機感からです。プロ野球ドラフト上位の選手は技術・体力は秀でていることは間違いありませんが、何故活躍せずに終わってしまう人がいるのでしょうか？ それは考え方、すなわち努力の仕方を間違っているからです。技術・体力は目に見え数値に表れますが、考え方は頭の中にあるものなので目には見えません。見えないものを磨こうとしないから活躍できずに終わります。稲盛和夫さん（京セラ創業者、故人）は「人生を成功させるためには考え方が重要とし、人生の方程式として【人生・仕事結果＝考え方×熱

意×能力】と述べています。考え方が全てを決めるのです。

自分で方程式をつくり実践できる人づくりを目標に進めていきますが、そのためには、問いへの納得解を自分で出す必要があります。参加者との対話を通じて自分の課題に気づき行動変容につながるよう進めていきたいです。

2) 目標 ねらい

「教育・医療・行政・企業などが一体となったスポーツによる人・街づくり」

- ①人間力ある人づくり：子供のメンターとなり、子供育成など社会貢献活動に参加。
- ②ネットワークづくり：枠を越えた交流から、学び合い自分の軸をつくり次世代に伝える。

3) 内容

- ①人間学：心構え・正しい努力など考え方、指導の姿勢・選手の向き合い方
- ②チームづくり：勝つにふさわしいチーム、勝つ選手の育成、理念と規則
- ③パフォーマンス：野球動作の体の使い方、トレーニング構成・計画
- ④野球傷害のみかたと対応：病態別治療方針・機能評価と手技、競技復帰プラン
- ⑤社会貢献：子供育成など各地の活動に自ら出向き地域の方々と交流
- ⑥質疑応答：チームづくり・選手育成・傷害など現場での引き出しづくり

4) 進め方

- ①講義：先達が積み上げた考えを聞き理解を深める
- ②問いに対する解と討論：問いへの各自の解を聞き、自分の考えを整理
- ③実技：野球動作の体の使い方、野球傷害のみかたとコンディショニング

5) 開催要領 状況により柔軟に対応

- ①開催頻度：年4回
- ②開催日：土・日の17～20時など参加しやすい時間帯
- ③方法：現地+オンラインの併用、リアル開催場所からZOOMでつなぐ
- ④対象：野球共育塾会員限定、指導者・選手・トレーナー・医療関係者など
- ⑤場所：47共育塾千葉、さいたま市、東京城南整形外科など
- ⑥参加費：無料、資料代別途（希望者）
- ⑦主催：NPO法人野球共育塾、NPO法人ファイアーレッズ

6) コアメンバー 3名が質問にお答えします。

- ①渡辺幹彦：整形外科医、BFJ医科学部会長、オリンピックなど野球チームDR
- ②森士：浦和学院副校長・野球部前監督、NPO法人FRMS理事長
- ③能勢康史：NPO法人野球共育塾理事長、アスレティックトレーナー

7) 過去の内容

- 1回千葉2024/8/31：能勢 野球傷害からの競技復帰に導く戦略的思考ー野球現場の求めるもの

能勢 野球に学ぶ人間力一問いを立て解を出し考える力を磨く

2回浦和2024/11/4：森士 勝利の哲学と人づくりー勝つ指導者の根となる姿勢

3回目黒2025/2/1：渡辺 野球を通じて学んだことー野球普及と選手育成

4回千葉2025/5/11：能勢 パフォーマンス向上に必要な頭と体の使い方

5回浦和：2025/7/5：齊藤・森 渡辺の競技復帰専門職の価値

6回目黒2025/9/6：渡辺 野球検診の意義、野球の基本質疑 能勢・森が答える